

光市住宅耐震化緊急促進アクションプログラム

1 目標

光市耐震改修促進計画に定めた目標の達成に向け、住宅所有者の経済的負担の軽減を図るとともに、住宅所有者に対する直接的な耐震化促進、耐震診断実施者に対する耐震化促進、改修事業者の技術力向上、一般市民への周知・普及等の充実を図ることが重要である。

このため、光市住宅耐震化緊急促進アクションプログラム（以下「アクションプログラム」という。）では、毎年度、住宅耐震化に係る取組を位置付け、その進捗状況を把握・評価するとともに、プログラムの充実・改善を図り、住宅の耐震化を強力に推進することを目的とする。

2 位置付け

アクションプログラムは、光市耐震改修促進計画第3章第1節に基づき策定する。

3 取組内容・目標・実績

	令和7年度取組内容	令和7年度目標
計画	【財政的支援】 1 住宅に耐震診断員を派遣する無料耐震診断を実施 2 住宅の耐震改修費に対する一部補助を実施	・無料耐震診断員派遣 18戸 ・住宅に対する耐震改修工事費補助 2戸
	【普及啓発等】 1 住宅所有者に対する直接的な耐震化促進 ・令和7年度は光市に住宅を所有するものにダイレクトメール（DM）の送付を行う。 （税務課が発送する納税通知書に同封） 2 耐震診断実施者に対する耐震化促進 ・耐震診断結果報告時にリーフレットの配布、説明等により耐震改修を促進する。 ・耐震診断後概ね1年を経過しても耐震改修を行っていない方に、パンフレット等の送付を行う。 3 改修事業者の技術力向上等 ・県等と連携し、改修事業者に対する耐震改修工法等に係る説明会を実施する。 ・耐震改修事業者リストを作成し公表する。 4 一般への周知 ・イベント等でブース展示を行い、補助制度の周知を行う。 ・市ホームページや広報紙等を用い、補助制度の周知を実施する。 ・庁舎窓口やイベントにてパンフレット等を設置、配布する。	昨年度までの実績 令和6年度 ・耐震診断：15件、耐震改修：1件 令和5年度 ・耐震診断：0件、耐震改修：1件 令和4年度 ・耐震診断：3件、耐震改修：4件 令和3年度 ・耐震診断：5件、耐震改修：3件 令和2年度 ・耐震診断：10件、耐震改修：2件 令和元年度 ・耐震診断：5件、耐震改修：3件

	前年度（令和6年度）の取組実績	前年度（令和6年度）の課題
自己評価	・市ホームページ、広報、ダイレクトメールを用いて耐震診断・改修の補助制度を紹介をした。 ・耐震診断実施後、耐震改修を行っていない方にパンフレット等を送付し、耐震改修のPRを行った。 ・市庁舎内掲示板及び各コミュニティセンターにポスターを掲示し補助制度の周知を行った。 ・令和5年と同様に大和コミュニティセンター、室積コミュニティセンターでパネル展示を行い、新たに浅江コミュニティセンターで展示を行った。 ・光まつり及び消防まつりで地震の被害や耐震の重要性を紹介するブース展示をした。	・耐震診断は能登半島地震の影響が大きく、想定以上に問合せや申し込みがあったため、募集枠について見直す必要がある。 ・耐震改修の申請者は1件と少ないことから、耐震診断から耐震改修へつなげるための対策が必要である。
		改善策 ・耐震診断実施者へ耐震改修補助制度の説明を徹底する。 ・耐震への意識が高まっていることから、耐震診断の募集件数を7件から11件追加して18件とする。 ・耐震改修に係る所有者の負担を軽減するため補助限度額を最大110万円から125万円に増額する。